

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市立大宮図書館
(2)施設概要	①所在地 さいたま市大宮区吉敷町1丁目124番地1 ②施設の設置目的 地域の知の拠点として、市民のみなさまに必要な資料を提供することで、 教養、調査研究、レクリエーション等に寄与する ③施設の概要 延床面積:4,084㎡ 文化施設・その他:展示スペース、研修室、研究席、学習支援室、 ステップリビング
(3)指定管理者	大宮クロスポイント株式会社
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和元年5月7日～令和21年3月31日 ②指定管理料 令和元年度 225,489千円 令和2年度 248,030千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・来館者数 477,185人(前年度 927,287人) ・貸出者数 197,074人(前年度 212,643人) ◇業務実施状況 ・図書館機能部分運営業務(資料の貸出等) ・交流機能部分運営業務(文化施設の貸出等) ・什器備品維持管理業務 ②その他の業務(自主事業) <図書館機能部分運営> ・文学資料コーナーの企画展示 ・保育士による図書館利用者向け無料託児サービス <交流機能部分運営> ・ ・
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 336千円 (前年度737千円) ・指定管理料 248,030千円 (前年度225,489千円) ②支出 ・人件費 148,003千円 (前年度142,185千円) ・事務費 25,633千円 (前年度24,725千円) ・事業費 30,939千円 (前年度32,043千円) ・その他 29,724千円 (前年度17,128千円)
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への 対応	・児童書コーナー壁際書架へ照明を追加 ・図書館メインゲート、新着資料棚、自動返却機付近へ照明追加
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
児童サービスの実施	・お話し会の実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、回数減) ・児童向け行事の実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、回数減)
文学資料コーナーの充実	・大西民子関連の企画展示の実施 ・宮澤章二、永井陽子企画展示の実施(寄贈資料の活用)

子育て支援サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児コンシェルジュの配置(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、回数減)</li> <li>・保育士による図書館利用者向け無料託児サービスの実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止)</li> </ul>
ビジネス支援サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業に関する個別相談会実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止)</li> <li>・ビジネス展示を毎月実施</li> </ul>
交流機能部分でのイベント実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「芸術(Art&amp;Music)」、「スポーツ(Sports)」、「生活(Life)」、「文化と歴史(Culture&amp;History)」をテーマとした大型イベント(年4回)及び市民参加の自主講座(月1回)については、緊急事態宣言等による臨時休館、並びに市からのイベント中止・延期要請に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を万全に行った上で、可能な限り、開催できるものについては、開催した。(大型イベント×3回/自主講座×7回実施)</li> </ul>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

<p><b>【図書館機能部分】</b>          昨年度の3月から本年度5月まで新型コロナウイルス感染防止の為に休館期間を経て、開館時間短縮、予約資料のみの貸出、館内滞在時間の制限、閲覧席使用不可、イベント開催の中止等さまざまな制約の中での図書館運営、利用者対応を大きなトラブルなく進めることができた。イベント開催については中止、延期も相次いだ。その中で、文学資料コーナーでの「詩人・宮澤章こと大宮」等企画展や、さいたま市高次脳機能障害支援センター、NPO法人ぶるすあるはとの共済事業「「いろんなきもちだいじょうぶ。」ぶるすあるは絵画展&amp;高次脳機能障害って？」や世界アルツハイマーdayに合わせた展示等、講演型以外のイベントの充実を図り、実施した。その他デジタルコンテンツでは大宮図書館HPに「大宮図書館けんてー」リニューアル(問題数大幅増加)や文学資料コーナーページを新設した。文学資料コーナーページは開催した企画展の目録を含めたアーカイブ化、現企画展、次回企画展の告知を行えるようになり、サイトの充実度を高めた。          またコロナ禍での図書館滞在利用者の課題について、窓際閲覧席では週末、長期休暇中の座席券での入替制を実施し、より多くの方の座席利用や在館者数軽減の為に対策を投じており、これは意見箱に投函された利用者の反応も概ね良く、継続して行った。          2/24～3/4のサーバ機器入替による休館期間は、書架レイアウト変更や什器の修繕、テーブルインク剥離部分の塗り直し、文学資料コーナー展示入替、スタッフ研修等行い、開館に向け内容のある準備をすることができた。</p> <p><b>【交流機能部分】</b>          ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を万全に行ったことで、クラスターを発生させることなく、臨時休館日以外の開館時間において、支障をきたすことなく運営をすることができた。          ・大型イベント及び自主講座についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を万全に行った上で、可能な限り、開催できるものについては、開催した。(大型イベント×3回、自主講座×7回)          尚、10月18日に開催した「弦楽四重奏コンサート」においては、初の試みとして、会場(申込制)+生配信(Facebook、YouTube)を行った。          ・提案事業である「ふれんどおみや」の一環として、一昨年展示スペースを利用した「大宮郷土史研究会」様に、自主講座の講師を依頼し、開催した。          ・氷川の杜ひろばの利用制限(大宮区役所の待合スペースとして貸出中)を令和2年3月30日より行い、現在もフリースペース(憩いの場)、飲食可能なスペースとしての稼働ができていない。</p>
---

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:教育委員会事務局 中央図書館 管理課)

<p>総合評価 (B) ※A～D</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、従来通りのサービス提供が困難な中、感染症対策を講じる等したことで、多くの事業を、混乱もクラスタも一発生することなく遂行できている。          サイトの充実度を図ったことは、感染症のために来館が不安な方もサービスが受けられるという点で非常に良い取組である。          生配信といった、新事業に意欲的に取り組んだことも高く評価できる。</p>
---

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、利用者ニーズを適切に把握し、利用者満足度の向上を図ること。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症については、引き続き防止対策を徹底すること。</li> </ul>
--